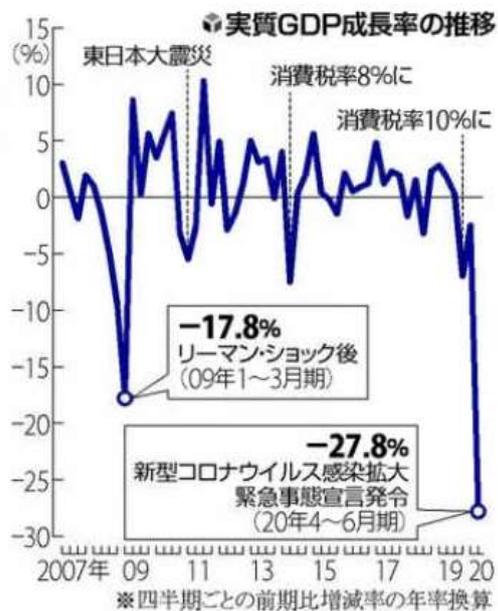


4～6月期実質GDP、年率27・8%減…戦後最大の落ち込み

2020/08/17 14:07 新型コロナ

内閣府が17日発表した2020年4～6月期の国内総生産（GDP）速報値によると、物価変動の影響を除いた実質GDP（季節調整値）は1～3月期に比べて7・8%減、このペースが1年間続くと仮定した年率換算は27・8%減だった。新型コロナウイルスの感染拡大で経済活動が大きく落ち込み、リーマン・ショック後の09年1～3月期（年率17・8%減）を超える戦後最大のマイナスとなった。

西村経済再生相は17日午前の記者会見で「緊急事態宣言のもとで意図的に経済を止めたため、厳しい結果となった」と説明した。先行きについては「消費、輸出は上向いており、経済が成長軌道に乗るように全力を挙げたい」と語った。